

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	福岡女学院大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	フクオカジョガクインダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F140310110801
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	福岡県
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	人文学部 人間関係学部、国際キャリア学部 短期大学部英語科
	担当教職員名・役職	インターンシップ／キャリア開発運営委員（各学部教員）
	受講者数実績年度	令和3年度
	受講者数※インターンシップ参加者数	3
	受入企業等数	1
	受入企業等名	福岡県朝倉市役所
	インターンシップの分類	6.低学年（大学1年次～2年次程度）からのインターンシップ
上記以外のインターンシップの分類（記述欄）		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	・実地対面にて実施。市役所での地域イベント企画・行事・運営・管理。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次	大学 学部2年 大学 学部3年 短期大学 1年 短期大学 2年
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数	大学 2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	学部2年次、3年次（短大は1、2年）対象。キャリア教育科目・選択授業として、休業期間または授業期間中に実施し、2単位を付与する。
	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている

要素③		2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている
		4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
		2.インターンシップ中に、学生が定期的に大学等において教職員と面談を実施している
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を説明。受入れ企業・団体による概要説明受講、各自事前調査。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	・研修日誌の提出及び学内での事後発表又はポスターセッション
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	受入先を担当者が訪問し面談、及び、定期的に大学に参加者を集め面談等実施、 またはオンラインにて面談等を実施。インターンシップ実施中に担当者が同時参加する場合もある。	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	
	4-3.上記回答内容に関する詳細	研修日誌・最終発表等により、受入れ企業・団体からの評価も含んだ判定、及びフィードバック。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	4.その他
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合	5日
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	前期または後期授業期間中に実施日をあらかじめ定めて合計5日以上実施
	5-3.上記回答内容に関する詳細	・前期または後期授業期間中あらかじめ定めた合計5日（月1～2日）×3カ月等 ・連続した5日間
6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい	

要素⑥	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してプログラムを設計している
		4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
	6-3.上記回答内容に関する詳細	受入れ企業と教員が協力してプログラムを設計している。受入れ企業も学生の評価を実施している。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://www.fukujo.ac.jp/university/
問い合わせ先	大学等名	福岡女学院大学
	担当部署名	キャリア開発教育センター
	担当者役職名	キャリア開発教育センター 事務室長
	担当者氏名	草間 孝一
	電話番号	092-575-2477(進路就職課)
	メールアドレス	career_dec1@fukujo.ac.jp